

心のとびら

弥富市立桜小学校
道徳通信 No.24
平成27年12月11日



人権集会を行いました



12月7日(月)「人権について考える」ことをめあてとして、人権集会を行いました。集会では、まず生活委員が「桜っ子しぐさ」の紹介をしました。「桜っ子しぐさ」とは、友達に対して優しく接したり、他の人のことを思いやる行動をしたりすることです。生活委員から名前と「桜っ子しぐさ」の内容が発表されると、紹介された児童は嬉しそうにしていました。

次に、生活委員が人権に関する劇「じんけん! じゃんけん!!」を行いました。自由にじゃんけんをすることができないことも、人権が守られていないことにつながるという内容の劇でした。劇中で、「人権とはそれがなくては、人間が人間らしく生きることでできないもの」であること「お互いを大切な存在であると思うことが、人権理解の第一歩である」ということを生活委員が全校児童に訴えました。

最後に図書委員が読み聞かせ(「かっくん〜どうして ボクだけ しかくいの〜」クリスチャン メルベイク 著)を行いました。

今回の集会を通し、児童はそれぞれの発達段階に応じて、人権について考えることができました。

「桜っ子しぐさ」の紹介



劇「じんけん! じゃんけん!!」



読み聞かせ「かっくん」



振り返りカードより

- ・ じゆうに たのしく くらせるように ということがわかりました。じんけんが よくわかりました。わるくちを いわないようにします。(1 松児童)
- ・ かつくんも みんなも ここころは おなじきもちであることを おしえてくれました。(1 竹児童)
- ・ じんけん しゅうかいで ともだちの たいせつさを まなびました。これからも ともだちのことを たいせつに していきたいとおもいました。(1 梅児童)
- ・ まあるい子たちが かつくんを あそびに入れてあげなかったから かつくんは かわいそうだなと思いました。友だちが一人ぼっちだった時、仲間に入れてあげたいと思いました。(2 松児童)
- ・ 人のけんり を かんがえずに 自分のけんりだけを考えるのは、よくないということが分かりました。(2 竹児童)

- ・ 人けんということが こういうことなのか よくわかったので、自分のことだけではなく みんなのことも 考えて行動していきたいです。(3 松児童)
- ・ みんなが笑顔でいられることは すごく大切なことなんだと思いました。桜っ子しぐさの発表を聞いて、わたしも やさしくしなきゃと思いました。(3 竹児童)
- ・ 差別をしないでみんな仲良くなればいいなと思いました。一人一人せいかくなどはちがうけど、みんな同じ人間なんだと思いました。(4 松児童)
- ・ 「桜っ子しぐさ」の紹介で、桜小の人はたくさんよいことをしているのだと思いました。そういう人が増えたら桜小はもっといい学校になると思います。だから、自分も進んで思いやりをもって、よいことをしたいです。(4 竹児童)

- ・ どんな人間でも、仲間外れにしてはいけないと改めて思いました。かつくんは、仲間外れにされていて、とても悲しかったと思います。だから、ぼくは一人でいる人をさそって、みんなで楽しく遊びたいと思いました。(5 松児童)
- ・ 図書委員の読み聞かせでは、一人だけ違う形をしているかつくんに、悪口を言ったり独りにしたりしていた。だけど、一人一人みんな特徴をもっている。だから、違うということで、悪口を言うことはいけないことだと思った。独りにしないようにと思った。
身の回りをよく見て、不安や悩みを持っている人を見かけたら、話しかけたり、一緒に遊んだりして独りにしないようにしていこうと思う。(5 竹児童)
- ・ 困っている子を助けるなど、みんなのために何かしている人がたくさんいるんだと思った。私もその中の一人になれるよう、もっと周りを見て行動しようと思った。読み聞かせを聞き、外見が違うなどで偏見をもち、仲間外れにするのは絶対によくないことだと改めて思いました。自分が気付かないだけで、人にはそれぞれいいところがあるから、それを見つけられるようにしていきたいです。まら、偏見は絶対にしないようにしようと思いました。(6 松児童)
- ・ 桜小学校には学年関係なく、優しい人や思いやりのある人がたくさんいるなと思いました。今日発表された子以外にも、そういう人はいると思うので、探して、みんなに紹介してみようかなと思いました。(6 竹児童)